

けやき

龍ヶ崎市立城西中学校

学校だより

2019. 7. 10号

319人（1年100, 2年101, 3年118） 文責 根本 清史



表現する姿勢



インタラクティブ・フォーラムが龍ヶ崎文化会館で行われました。本校からも6人の生徒が参加しました。市内の各中学校から参加した生徒同士が与えられたトピック（話題）について、英語で意見交換を行います。自分自身が得意とする話題もあれば、どちらかといえば苦手な話題もあるでしょう。他校の生徒の話に耳を傾け、話している内容を理解した上で“自分の考えを表現”することを繰り返し行っていました。



最初は3人グループ内で自己紹介です。その後、すぐに5分間の時間が与えられ、“Dream（夢）”について、それぞれが自分自身の夢について語りました。一方通行の“独り言”ではなく、分かるように話すことや相手の話を受けて、自分の思いも伝えていくという時間でした。



もちろん、全ての会話は英語ですから、話すためには多くの情報や話を組み立てていく思考も必要になります。日本語でも難しい面があるのに、それぞれの参加者はとても上手に自分に合った表現をしていたように感じます。

毎日の学校生活でも“聴き方・あいうえお”を行いながら、聴き

上手になることや、授業中に他の生徒との関わりを通して課題を解決していくことも行っています。普段の小さな積み重ねが、自分の考えを適切に相手に伝えることができる人になっていくと感じています。

もし分からないことがあれば、「これどうやるの…」「教えて…」と友だちに聞いてみましょう。分からないことをそのままにするのではなく、どのようにすれば解決できるのか・理解できるのかという自分自身の姿勢が大切です。

チェンジ

総合体育大会の市内大会・県南大会が終了しました。この大会をもって引退する生徒も多くいます。1年生からずっと続けてきた部活動が終わってしまうのは、とても寂しい気がします。きっと引退することになった3年生の心には、ぽっかりと穴があいてしまったという気持ちの人もいることでしょう。中学校の部活動は一区切りとなりましたが、スポーツ人生はこれからもずっと続いていきます。ですから、長い人生を見据えながらスポーツを楽しんでいってほしいと願っています。

「チェンジ」という題にしましたが、“今、新たな目標”をもっていますか。残りの中学校生活9ヶ月間の目標をもちましょう。どんな中学校生活にしたいのか。卒業後はどのような進路を考えているのかを整理してみると目標が見えてきます。今後に向けての目標にチェンジしてみましょう。チェンジできると日々の生活の中で、何を頑張ればよいのかが頭の中に浮かんでくるでしょう。

たった一度しかない中学校生活の時間を自分自身のために大切に使うしてほしいと思います。